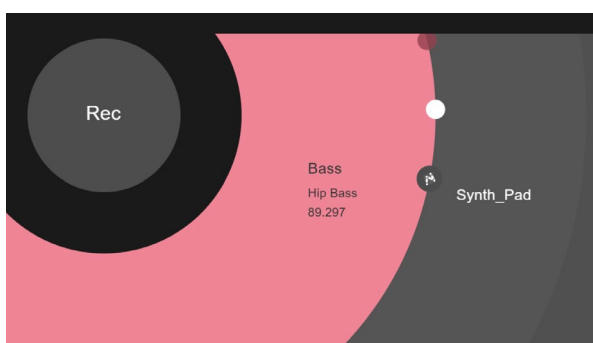


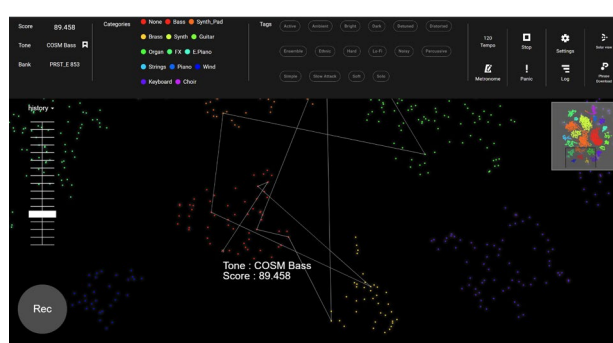
Roland Future Design LabがAIを活用した『Tone Explorer』（テクノロジー・プレビュー版）を発表 ～音楽クリエイターを対象に、音楽制作ワークフローを向上させるAIアプリケーションに関するフィードバックを募集～

ローランドが、音楽創造の未来を見据えて開設した研究開発グループである Roland Future Design Lab（ローランド・フューチャー・デザイン・ラボ）は、初のテクノロジー・プレビューとなる『Tone Explorer』を発表しました。『Tone Explorer』は、MIDI（※1）で作成されたフレーズの音楽的な表現をニューラルネットワークで分析し、そのフレーズに適した定番の音色から、利用者が思いがけない意外性のある音色まで、選択枝の幅を広げてくれる次世代の音色提案機能です。現時点における機能は限定的ですが、テクノロジー・プレビューとして提供される『Tone Explorer』を通じて当社は、最新の音楽テクノロジーに敏感なクリエイターからフィードバックをいただき、今後のローランドの技術開発につなげていきます。

※1 Musical Instrument Digital Interface の略。電子楽器の演奏データを機器間でデジタル転送するための共通規格



『Tone Explorer』テクノロジー・プレビュー版 画面イメージ
(Solar View)



『Tone Explorer』テクノロジー・プレビュー版 画面イメージ
(Constellation View)

『Tone Explorer』テクノロジー・プレビュー版は、ソフトウェア・シンセ音源「GALAXIAS」の追加機能として、クラウド・サービス「Roland Cloud」（※2）を通じて提供されます。すでに Roland Cloud Ultimate のメンバーの方は、すぐにプレビューにアクセスいただけます。新規の方は、『Tone Explorer』の情報ページにアクセスし、簡単な登録アンケートに回答することで、3か月間のトライアルに申し込むことができます。新規トライアル期間中は、Roland Cloud Ultimate のメンバーシップが提供するすべての特典をお楽しみいただけます。

※2 電子楽器を楽しむためのコンテンツや、音楽制作用のソフトウェアなどを提供するクラウドベースのサービス

Roland Cloud 詳細ページ：https://www.roland.com/jp/promos/about_roland_cloud/

■ Cloud Business 事業本部 Roland Future Design Lab 部長 兼 Consumer Research & Insights 部長
ポール・マッケイブのコメント

「ローランドとユニバーサル ミュージック グループが、『AIによる音楽制作の原則』を策定した際、AIアプリケーションを検討・開発するためには、ミュージシャンからの意見を聞くことが重要であると考えました。当社は、『Tone Explorer』テクノロジー・プレビューに関して、初期のコンセプトから完成まで、革新的な音楽クリエイターの貴重な意見を求めています。『Tone Explorer』の開発を進めるにあたっては、今後数週間にわたって得られるフィードバックを、直接反映させる予定です」

Roland Future Design Lab の『Tone Explorer』テクノロジー・プレビューの詳細については、こちらをご覧ください。

<https://articles.roland.com/ja/tone-explorer-technology-preview-for-galaxias/>

※ 画像は、ニュースリリースページ <https://www.roland.com/jp/news/1120/>よりダウンロードいただけます。

※ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

※ このニュースリリースに掲載されている製品情報や発売時期などは、発表日現在の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。